

| | |
|--------------|---|
| Title | 財団法人 大阪防疫協会の思い出 |
| Author(s) | 石橋, 外吉 |
| Citation | makoto. 1977, 20, p. 13a-13a |
| Version Type | VoR |
| URL | https://doi.org/10.18910/86169 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

財団法人 大阪防疫協会の思い出

財団法人 日本公衆衛生協会

会長 石 橋 卯 吉

終戦の混乱が未だ納らない頃
昭和二十六年一月私は大阪府の
衛生部長を拝命した。当時は赤
痢腸チフスが流行しており時折
天然痘なども流行する時代であ
った。終戦直後は物資の不足の

時代で防疫にも人手はあつても
消毒薬もワクチンも仲々入手が
むつかしかった。府が直接購入
する時もあったが防疫には備蓄
が必要であり有事の用意にワク
チンを持っていないと安心して

いられなかった。その前私は厚
生省の防疫課長をしていたこと
があつたが何時も地方からワク
チンを買受けるため厚生省の私
の課に泊り込んでワクチンの出
来てくるのを待っている人々が

教人いたものであつた。こんな
時代に防疫協会は生れ育つた。
府庁でも必要欠くべからずと思
い、他の場所から地下室に場所
を与えてやつて貰つた。
その後時代の変遷と共に色々
適切な業務に努力して今日の大
をなしたのであり、協会の歴代
方々に深い敬意を捧げ、今後の
発展を心から祈ります。